

4月27日(月)

## 神はここにおられます

聖書朗読 ローマ 8:1~11

『いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名を聖となえられる方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、心砕かれて、へりくだった人ともに住む。へりくだった人の霊を生かし、砕かれた人の心を生かすためである。

イザヤ書 57:15

孤立した、見捨てられた、切り離された、空っぽな人生に響き渡る「一人ぼっち」の声ほど人を悲しくさせるものはありません。裏切った友達、壊れた家、愛する者の死、これはただ孤独を感じる一因にすぎません。私たちは不変なもの、強め、勇気づけ、支えてくれる仲間を必死に求めます。私たちの存在そのものがこれらを求めています。

私たちは皆、人との交わりに飢えています。だから私たちは、神が私たちにしてくださったことに感謝します。神は私たちを御霊で満たし、存在を確かみにしてくださいませ。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』(ヘブル 13:5) と約束してくださり、私たちの中に息づく聖霊は、神の御約束が果たされることの保証です(エペソ 1:13, 14)。

神の存在は何者にも勝る贈り物です。神が私たちとともにおられることを知ること、別れを経験した時も耐えることができ、見捨てられた時も強くいられることができ、周りに誰もいなくなっても自信を持つことができます。

神が近くにおられることを知ることによって得られる平安は本当に大きなものです。詩篇の作者がこのことについて言っています。『私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。・・・そこにあなたはおられます。』(詩篇 139:7~8)

讃美歌 525

祈り お父様。たとえ、皆が私を見捨てたとしても、あなた様は私と共にいてくださることに感謝致します。お父様の愛で私を満たしてくださっていることに感謝致します。

イエス様の御名によって。アーメン。

ベン・マリネス 1985年

## 今日の花

2015年4月27日~5月3日

翻訳 阿部 やよい

編集 岩田 欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月28日(火)

## 神を恐れるのではなく、愛しましょう

聖書朗読 ローマ 8:18~30

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

「ダーバヴィル家のテス」の中で、著者のトーマス・ハーディはテスがどのような経緯で彼女の人生を台無しにした男を殺したか描いています。彼女は裁判にかけられ、死刑となりました。そしてハーディは、「正義はなされた。神々の主はテスをもてあそぶのをやめた」と書きました。これは人生に対する、私たちに起こることに対する、それがどのように起こるかに対する1つの見解です。私たちは運命にもてあそばれているにすぎません。

人生に対する、私たちに起こることに対する、それがなぜ私たちの身に起きるのかに対するもう一つの見方があります。それは聖書の中で、パウロによって描かれています。パウロは、私たちは、私たちの幸せを心から気にかけてくださっている知恵に富み、恵み深い神の手の中におり、この世の全ての出来事は神の手中にあるため、全てのことは、神を愛する人々に対して善のために共に働いている、と述べています。

パウロは、私たちに起こる全ての出来事が良いものとは言っていません。全てのことが全ての人々のために共に働くとも言っていません。神を愛する者にのみです。神は、この世の究極の善のために働かれていることを知るにはどのように人生の出来事を見ればよいのかを、神を愛する人々に教えてくださっています。神を愛していてよかったですよ？

讃美歌 321

祈り 私のお父様。あなた様がすべてのことを働かせて益としてくださるという安心からくる希望、平安、強さに感謝致します。

イエス・キリストの御名によって。アーメン。

ジェームス・リーファン 1972年

4月29日(水)

## 誇ってはいけません

聖書朗読 ローマ 11:17~24

彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、かえって恐れなさい。 ローマ 11:20

パウロはローマにいる異邦人たちが問題を抱えているのではないかと思っていました。異邦人はユダヤ人たちが手放したほとんどの富を受け継いでいました。人は富を得ると、時につけあがってしまいます。富は私たちが自慢好きの、思い上がった、批判しがちな人間に変えてしまいます。

パウロは異邦人に高ぶるのではなく、神は彼らを贖いの木につぎ合わされた、このことを恐れなさいと警告しています。もし彼らが高慢になったら、神は彼らを切り落とすでしょう。『もし神が台木の枝を惜しまれなかったとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう。』(ローマ 11:21)。

神は私たちのうぬぼれに心を痛めておられます！ 高慢な人は何でも自分でできると思い、助けを必要としないため、神は何もなさいません。『神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。』(ヤコブ 4:7)。

人として、私たちは十分に祝福を受けています。しかし、時に私たちは全てを自分だけで行ったと思いがちです。気をつけましょう！ 神がかつての神の人々を拒絶し、彼らの代わりとなった異邦人を拒絶すると警告したように、神は高慢ゆえに私たちが拒絶するかもしれません。

讃美歌 137

祈り 主よ。あなた様から離れては何の価値もない人間であることを忘れないよう、謙虚な心を私にお与えください。

キリストによって。アーメン。

トム・オルブラフト 1978年

4月30日(木)

## 絶えず祈る

聖書朗読 ローマ 12:9~21

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。 エペソ 6:18

私はここにいます。信じた者、キリストにつくバプテスマを受けた者、神の御子と呼ばれた者。神の尽きることのない泉はいつも手の中にあるのに、それでも私は時々神に祈ることをやめようとし、付きまとう恐怖、孤独、疑い、不安、お金がないことに対する愚痴がでてしまいます。どうしたら豊かに生きていけるかがわからないからです。

自分の周りを見まわすと怖くなる時があります。周りの人は私に何をしてくるのか、私は称賛を得られるのかどうかと、考えると怖くなります。私は孤独で、幸せでもなく、満たされない気持ちを抱えている男にすぎません。周りの人々が望んでいるのはびくびくしている私ではなく、むしろ、決して情熱を失わない、御霊にあって輝いている人を、主に仕え、希望のうちに喜び、苦しみに耐えている人を必要としています。もし私が絶えず祈っていなければ、このような皆が望む人にはなれません。

私は祈りをやめてしまうとき、祈らないことに罪悪感を覚えます。祈りは答えであり悩みの種であってはなりません。私は絶えず祈ることは難しいとは思わないようにして、ただ心から信頼して膝をつくことにしました！

讃美歌 313

祈り めぐみ深きお父様。落ち込み、言葉に詰まりながら祈りを捧げているときでさえも、あなた様は私の祈りを聞いてくださいます。私は感謝を捧げ、人生を捧げます。

我が主イエス様の御名によって。アーメン。

W・ジェラルド・ケンドリック 1962年

5月1日(金)

## あなたが必要

聖書朗読 Iコリント 12:14~26

もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。 Iコリント 12:26

パウロは、私たちの体の全てのパーツ一つ一つが重要であると言っています。歩くためには足が、聞くためには耳が、嗅ぐためには鼻が必要です。パウロは、教会の一人ひとりがキリストの体の一部をなしているため、全ての人が神にとって重要であると言っています。私たちは皆、それぞれ使命をあたえられているため、私たちはなくてはならない存在なのです。

バスケットボールチームの中には、他の選手より自分は重要ではないのかも知れないと感じている人がいるかもしれません。でも実際は、たった4人の選手で試合に勝てるチームはありません。家族でもそうです。誰もが重要な人なのです。一人ひとりが家族を助けています。それほど重要には見えなくてもかけがえのない存在なのです。何より、教会では全ての人が重要です。一人ひとりが教会全体を支えているのです。

たった一人では神に仕える事はできません。私の存在が、私のすることが、他の人がすることの重要な一部となるのです。私たちそれぞれに。他の人では埋められないキリストの体に場所を持っています。

讃美歌 27

祈り お父様。大小に関係なく、私たちが行うことの重要性を理解できるようにお助けください。他の人の存在、そして他の人が行うことの重要性を私たちに理解できるようにお助けください。あなた様の御心を行うとき、他の人の場所も見ることができるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ネイルディビッドソン 1971年

5月2日(土)

## パッケージではありません

聖書朗読 IIコリント 4:7~12

「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは私の力は、弱さの内に完全に現れるからである。」 IIコリント 12:9

私たちはパッケージにこだわります！私たちは、パッケージが壊れていない風邪薬や飲みやすいパッケージのジュースを選びます。そして、きれいに包装されたプレゼントに喜びます。車も乗りやすさだけでなく、見た目も気にします。美しい外見の人(均整のとれた体格、きれいな歯、シルクのような肌、光沢のある髪、太っておらず、ニキビもなく、欠点のない)がより好まれます。そして、宗教でさえも見た目のよいものを好みます。ミスアメリカやスーパーボールチャンピオンに生まれ変わるのならと考えることほどワクワクするものはありません。

でも、ちょっと待ってください。もしそんなにも完璧なパッケージだったら、その中のギフトが必要ですか？もし、私が完璧な人間だったら、あなたに助けは求めないでしょう。そして、あなたが完璧な人間だったら、自分の不完全さに苦しんでいる私をあなたが助けられるとは思いません。

パウロはある種の人々、自分たちから出たと思っているクリスチャンに苦しめられました。彼らは完璧な信者でしたが、パウロの話には共感しなかった人々でした。パウロの見た目や話や行動は、彼らをひきつける様なパッケージではなかったのでしょう。しかし、パウロは自身の弱さを知らない人々こそパッケージの中にある神様の御力のギフトが必要であることを知っていました。福音の力はパッケージではありません。

神の愛は素晴らしく、  
神の御力は偉大である  
そして、神を信じる者は  
見捨てられることはない

—————T・O・チザム

讃美歌 525

祈り お父様。自分の弱さを知り、あなた様の御力を知ることができますように。そして私を通して、人々があなた様の御力を見ることができますように。イエス様の御名によって。アーメン。

チャールス・サイバート 1985年

5月3日(日)

## 見えないものに焦点を

聖書朗読 IIコリント 4:7~18

また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。・・・その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らないなが書かれている。

黙示録 19:11~12

パウロは、迫害、苦しみや悩みの人生を送りました。私たちが苦しみの中にいるときに、パウロが経験した苦しみと比べられることがあります。これは正しいこととは思いません。なぜなら、人が経験する苦しみは、人それぞれで、比べることができないからです。

自分の苦しみと周りの苦しみを比べたところで何の気休めにもなりません。パウロも比べることはしませんでした。

パウロは神との関係から安らぎを見つけ、強さを得ていました。今、私たちの中には病氣や怪我に苦しんでいる人がいるかもしれません。解決することのない家庭問題に悩んでいる人がいるかもしれません。イライラしたり落ち込んだりするようなくさんの問題に直面している人がいるかもしれません。そのような時、私たちもパウロのようにならなければなりません。

私たちは、そのような時、生まれ変わった内なる心に焦点を合わせることで、心を騒がせないようにしなければなりません。私たちは、心の中ではイエス様を、神様を分かっています。クリスチャンとして、私たちは単に天を見上げるだけではなく、見えないものに焦点を合わせるのです。この世はただ生活し、そし御国への準備の一時的な場でしかないことを知って慰められます。私たちには私たちが愛し、心配してくださる救い主がいます。私たちは王の中の王、主の中の主の子どもです。

讃美歌 297

祈り お父様。見えないものを見ることができるようにお助けください。その優しい手で私に手を当て、私を抱きしめて暖めてください。私たちに神様を明らかにお祈りいたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

ダニエル・C・ハーディン 1990年